

船橋市版アセスメントシートの記載ポイント

領域	該当項目	記載ポイント
Ⅰ 運動・移動	全体	・①以外に該当する場合は、いつからその状況なのかを、具体的に聞き取る。
	1	・脳梗塞後遺症等による麻痺等の有無についての状況。感覚障害は含まない。 ・⑥その他は、握力低下や四肢の極端な筋力低下により日常生活に支障を来している場合や、四肢に欠損がある場合に選択する。
	2	・起き上がりは、普段臥床している場所(布団・ベッド等)からの起き上がりの状況。
	3	・5m続けて歩けるかどうか。自宅や屋外の歩行状況。杖や歩行器等の使用状況は「特記・課題等」欄に記載する。
	4	・椅子からの立ち上がりについての状況。
	5	・1秒間程度、片足を上げたままの立位が保持できるかどうか。
	6	・行きたい場所に自ら移動できるかどうか。 ・②誰かと一緒に行く、③行けないに該当する場合は、状況を「特記・課題等」欄に記載する。
Ⅱ 日常生活（家庭生活）	全体	・家事(調理・買い物・掃除・洗濯・ゴミ出し等)や、経済的管理等を日常的に行っているか聞き取る。
	7	・経管栄養や治療目的で分食を行っている等の場合は ④その他を選択し、状況を「特記・課題等」欄に記載する。
	8	・献立を考えて調理をする一連の行為についての状況。
	9	・買い物の方法は問わず、日常に必要な物品を自分で選んで買うことについての状況。 ・通信販売やインターネット等を利用している場合は、状況を「特記・課題等」欄に記載する。
	10～12	・掃除、洗濯、ゴミ出しをする一連の行為についての状況。
	13	・預貯金の出し入れを行っているか、収支を把握しているか等についての状況。
	14	・日常生活の協力者の有無の状況。
	8～13	・①している以外を選択した場合は、いつからその状況なのかや理由等を「特記・課題等」欄に記載する。 ・③一部しているを選択した場合は、その具体的内容やその理由等を「特記・課題等」欄に記載する。
Ⅲ 社会参加・対人関係・コミュニケーション	全体	・状況に見合った適切な方法で人々と交流しているか、家庭・近隣の人との人間関係が保たれているかを聞き取る。 ・仕事やボランティア活動、町内会等への参加状況、家庭内や近隣における役割の有無等の内容や状況について聞き
	15	・日中、誰と過ごすことが多いか。
	16	・病院、買い物以外の外出の頻度。(例：図書館に行く、地域の集まりに参加する等)
	17	・親戚や友人等と、会話や手紙等により交流することについての状況。
	16・17	・頻度が年1～2回の場合は、②を選択する。
	18	・急に涙もろくなったり、怒りっぽくなったりすること等があれば、②感情が不安定になることがあるを選択する。
	19	・日常生活における会話に支障がなく、普通に聞き取れるかどうかの状況。補聴器等の使用状況は「特記・課題等」欄に記載する。
	20	・新聞や本等の文字が見え、日常生活に支障がない程度の視力を有しているかどうかの状況。 ・メガネ等の使用状況や視野狭窄・視野欠損等がある場合は、「特記・課題等」欄に記載する。
	19・20	・聴力・視力の状況は、「社会参加、対人関係・コミュニケーション」の領域だけでなく、「運動・移動」や「日常生活(家庭生活)」、「認知機能」の領域にも関連があるため、他の領域に影響がある場合は、「特記・課題等」欄に記載する。
Ⅳ 健康管理	全体	・健康管理の観点から定期受診、服薬管理、清潔・整容の保持等を行っているか聞き取る。
	21	・医師から運動に関しての制限や、その他生活上の注意等を受けているか。
	22	・定期受診や健診の受診状況。
	23	・面接時の体調について、本人がどのように感じているか。③よくない場合は、具体的によくない状況を聞き取り、その内容を「特記・課題等」欄に記載する。
	24	・睡眠についての状況。
	25	・処方薬の有無を確認し、処方薬がある場合は内服状況を確認する。 内服に関して工夫していること等があれば、「特記・課題等」欄に記載する。(例：薬カレンダーを活用している等)
	26	・定期的に入浴、またはシャワーで身体を洗うことについての状況。
	27・28	・口腔機能の状況。歯(義歯を含む)の手入れについての状況。
		※飲酒や喫煙、食事制限の有無や運動習慣等の状況については、「特記・課題等」欄に記載する。
Ⅴ 認知機能	全体	・認知機能の状況を聞き取る。
	29	・直接聞き取りが出来なくても、面接時の状況を勘案して判断する。
	30	・②ときどきある、③あるを選択した場合は、頻度や物忘れの内容等の状況を「特記・課題等」欄に記載する。
	31	・身なりを気にしなくなった、今まできれいだっただった人が掃除や片づけをしなくなった等の状況。
		※対象者の認知機能の状況を把握することによって、認知症予防・早期発見・治療につなげる。
特記・課題等		項目に対する回答だけでは把握できない、個別性の高い情報を記載する。(環境要因など)